

総合会館建設構想

病院建設の次に大きなプロジェクトとして予定しておりますのが、総合会館建設であります。県施設を含む総合的な施設として検討しておりますが、昨年、東部地域・富士北麓地域への県立婦人会館建設地が関係各位のご努力により本市に決定いたしました。

現在の市民会館敷地と付近の市有地等を活用し、昭和六十五年に

完成する婦人会館と併せて、歴史的・文化的活動の拡大、さらに産業面をも含めた複合施設を建設したいと考えておりますが、これらを検討していただくため、近く各界各層の市民で構成する総合会館構想検討委員会（仮称）を設置して、具体的に推進してまいる所存であります。

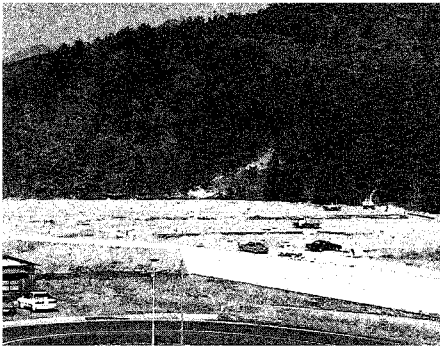
「サン地開発」と都市基盤整備

市土の有効利用を図ることも重要なことであります。

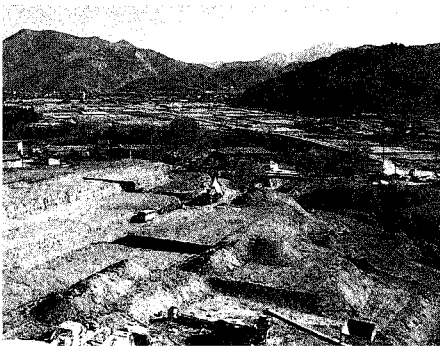
特に、約八十五パーセントを占める山地の活用こそ都留市発展の

方策だと考えております。

このため、土地開発事業で「サン地開発」を推進しておりますが、この成果といたしまして、自然環



玉川造成地

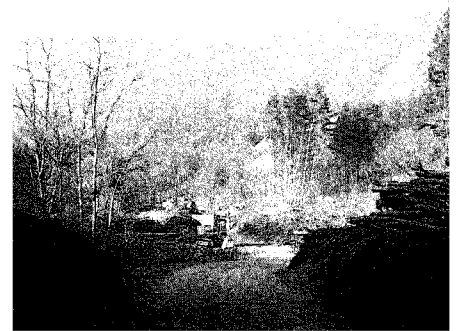


平栗造成地

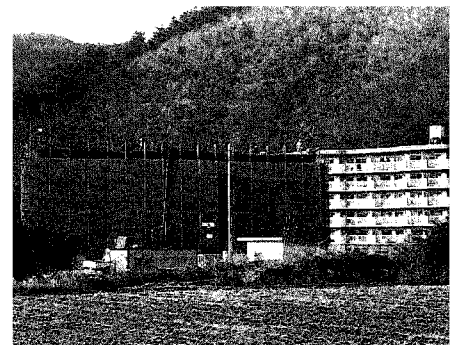
境に恵まれております玉川、平栗両地区に、住宅団地等が完成いたします。

玉川団地は六十七区画で、菅野川の清流に沿った地にあり、住宅地として生活環境の整備された最適な街区となります。平栗団地も、大幡川と加畑川を見下ろす山地を造成したもので、住宅地三十四区画と工業団地を併設した団地で、非常に景観のよいところであります。今春には分譲できるように現在工事を急いでおります。市民の皆様への住宅供給と、産業振興に大いに役立つものと思えます。今後、適地を調査し、自然保護と開発の調和のとれた住宅地等の造成を継続し、推進してまいる所存であります。

民間活力でありますゴルフ場の開発も、山地を有効に活用する「サン地開発」の一環として、地域発展のため促進してまいります。市営住宅団地の建設につきましても良好な住宅環境を確保するた



都カントリークラブ

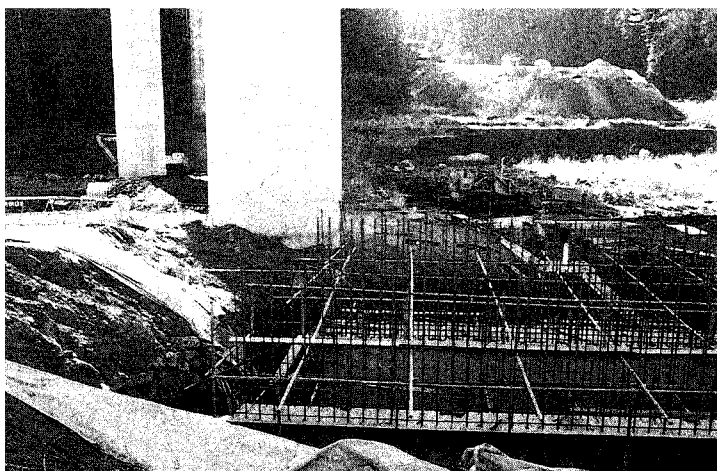


朝日団地二号棟

め、現在盛里地区に朝日団地一号棟に続き五階建二十戸の二号棟を建設しております。昭和六十四年度中には三棟とし、集会所も建設し地域の均衡ある発展を図ってまいります。また、都市計画街路・土地区画整理事業を取り入れ、理想的な市街地を形成してまいります。

特に、課題となっております都留文科大近くへの、富士急行駅舎の設置と併せて周辺の整備につきましては、昨年度権者の方々と構成された田原地区地主組合が結成され、具体的検討に入ることができました。よりよい結果がでるものと期待しているところであります。

国道都留バイパスにつきましては、ようやくにして昨年一部供用開始さ



谷村橋

れたところですが、第二期工事として玉川から田野倉の測量調査に着手いたしました。計画路線の早期完成を促進するとともに、中央自動車道都留インターのフルインター化と、付近の県道高畑谷村停車場線の整備促進、さらに側道の高度利用を目的とした橋梁・道路整備を促進してまいります。三橋の一つ谷村橋架設（つる五丁目・川棚）は、既に工事に着手いたしました。

早期完成を目指し、市街地の交通緩和と地域の発展を図ってまい